

■背景

2024年10月に開幕する世界最高峰のリーグを目指す「SV.LEAGUE」に参入する「東レアローズバレーボールクラブ滋賀」は、チーム名に「滋賀」を入れ、地域に根付いたチームを目指されております。

本市との関わりについては、レッツエンジョイスports!やバレーボール教室、イベントへの参加等、子どもの健全育成や競技力向上に協力いただいております。

この度、東レアローズ株式会社からパートナーシップの協定につきまして依頼があり、本市にとっても地域振興等のメリットがあることから、協定を締結するものであります。

■東レアローズ滋賀との連携事業

○レッツエンジョイスports!

市内小学校を対象に東レ指導者がバレーボール教室を開催（11月～2月）
令和5年度実績：草津小3クラス、笠縫小4クラス

○国スポ・障スポバレーボール教室(R6.3.17)

○草津市市制施行70周年記念事業×国スポ障スポ
開催1年前記念イベント(R6.7.13)
「くさつ輝フェスタ」



■これまでの経緯

○令和5年11月22日

ホームアリーナ確約書を（一社）ジャパンバレーボールリーグへ提出

主な内容

東レがYMITアリーナをホームアリーナとすること
草津市はYMITアリーナで東レがホームゲーム数の50%以上を開催するために使用することを認可する。（公園緑地課）

○令和6年3月25日

自治体支援確認書を東レアローズ女子バレーボール部へ提出

趣旨

「S-V.LEAGUE」においては、ホームタウンの自治体との共生・連携強化により、クラブが地域に根付くことを目指されており、リーグ運営組織からクラブの取組を支援する姿勢を示した文書の提出が求められたため提出した。（スポーツ推進課）

■2024-25 SV.LEAGUE YMITアリーナでの試合

○12試合（6週） R6.10.26(土) 27(日) R7.1.4(土) 5(日) 2.15(土) 16(日)
3.15(土) 16(日) 4.5(土) 6(日) 4.12(土) 13(日)

■パートナーシップ協定

（目的）

第1条 本協定は、甲及び乙の連携活動により両者の認知度向上を目指すこと及び相乗効果を発揮し地域振興に寄与することを目的とする。

（連携対象事項）

第2条 甲及び乙は、前条の目的を達成するため、バレーボール等を通じて次に掲げる事項について、自己に必要と判断する範囲において連携する。

- (1) バレーボールを介した市内外の方々との交流などに関する事項
- (2) 身体やメンタルケアなど健康増進に関する事項
- (3) バレーボールに関する技術指導や講演など子どもたちへの健全育成に関する事項
- (4) バレーボール教室の開催や大会への参加などスポーツ振興に関する事項
- (5) イベントや啓発活動への参加などに関する事項
- (6) 障害者等を支援するなど社会福祉活動に関する事項
例：デフバレー（聴覚障害者でもできる）を東レアリーナで実施
- (7) 前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な事項

■他自治体の状況

- 滋賀県 将来的に締結する予定ではあるが、現在調整中である。
- 彦根市 R6.10月19日にプロシードアリーナで協定書締結式の予定。
- 大津市 R7.1月18日にダイハツアリーナで協定書締結式の予定。

■協定の締結式

○協定の相手方：東レアローズ株式会社 東レアローズバレーボールクラブ滋賀
代表取締役社長 山内 哲矢

○協定締結日：令和6年10月26日（土）

YMITアリーナの東レアローズ滋賀公式試合（14:05）前に協定書締結式